

合いとなりますが、地権者・隣接者の皆様にはご協力をお願いします。

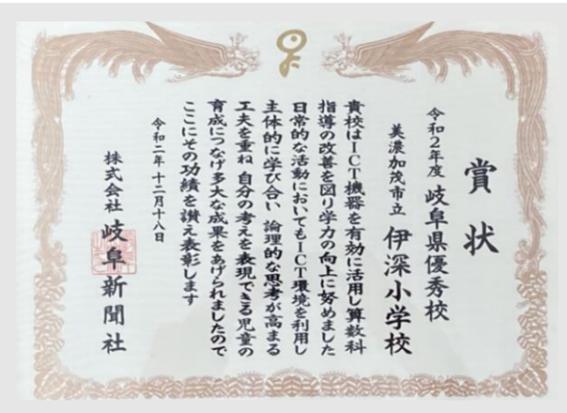
なお、7地区（一文坂・寿瀬）の閲覧は10～11月に終了し、8地区（岩井洞口・岩井洞・田口洞）の測量は測量会社において現在進行中です。

伊深小が県の優秀校で表彰されました —— 県内4校の一つとして

優れた教育内容と積極的な実践教育で成果を上げたとして、伊深小学校が県の第63回優秀校（岐阜新聞社 岐阜放送主催、県教育委員会協力、小学館協賛）に選ばれ、12.18（金）、オンラインによる表彰式が行われました。

県下で小学校2校、中学校2校の合わせて4校が選ばれたもので、伊深小については、先生と児童がともに、先進的なICT機器の有効活用にチャレンジしてきたことが認められるということです。校長室で行われた表彰式では代表児童が少し緊張気味ながらも、堂々とした態度で県教委の方から賞状を受け取っていました。

海津校長先生は「地域あつての伊深小。さっそく地域の方々にご報告し、喜びを分かち合いたい」と話しておられました。



参加者募集 !!

伊深茶屋（カフェ）

- 主 催： 伊深まちづくり協議会（伊深ごはん研究会）
- と き： 1月21日（木） 9:00～なくなるまで
- と ころ： 旧伊深村役場
- 内 容： ぜんざい・甘茶
- 料 金： ￥300-

伊深食堂（食事）

- 主 催： 伊深まちづくり協議会（伊深ごはん研究会）
- と き： 2月18日（木） 11:30～なくなるまで
- と ころ： 旧伊深村役場
- 内 容： 大人の方を対象に、伊深産の食材を主とした昼食を提供します。今回はけんちん汁などの冬メニューを予定しています。
- 料 金： ￥500-

【ご連絡】

1. まち協定例会はコロナ禍を考慮し、当面休会としております。
2. 例年、1月下旬～2月上旬に実施していましたが「凧あげ大会」は、コロナ禍の影響で今年度は実施しないこととしました。
3. 新交流センターに関しては今月の「伊深連絡所だより」にも関連記事があります。
4. 当「伊深まちづくり協議会だより」12月号は休刊しました。



伊深まちづくり協議会だより 第83号
 2021. 1. 1発行（毎月1回1日発行）
 発行責任者 伊深まちづくり協議会 会長 小林 喜典
 事務局 美濃加茂市伊深町 909
 伊深交流センター内
 電話 0574-29-1395 FAX 0574-29-0001
 ※ ご意見・お問い合わせはこちらまで

伊深 まちづくり協議会だより

2021.1
NO 83

- 今月号の主な内容
 - 新年のごあいさつ 小林喜典会長 ……1
 - 新交流センター外観図 ……2～3
- 〔トピックス〕
 - 今年度の地籍調査が始まりました ……3
 - 12.18 伊深小が県優秀校で表彰されました ……4

伊深まちづくり協議会ホームページ
<http://ibukamachi.com>
 または 伊深まち協



新年あけましておめでとうございます
 本年もよろしくお祈り申し上げます

令和3年 元旦

伊深まちづくり協議会 委員一同

《 新年のごあいさつ 》

新しい伊深交流センターの建設が1月から本格開始

伊深まちづくり協議会 会長 小林 喜典

新年明けましておめでとうございます。

まちづくり協議会のいろんな活動に対して、町民の皆さんにはご理解とご協力をたまり厚くお礼申し上げます。

しかしながら、令和2年は新型コロナウイルス感染拡大で、活動のほとんどが中止となってしまう、毎日がコロナウイルスの問題で明け暮れた年でした。

迎えた令和3年。伊深地区の拠点であり、まちづくり協議会の活動施設ともなる「交流センター（連絡所）」の建設が正月明けから始まります。

本来は、昨年8月盆明けから始まるはずでしたが、計画変更（近年の災害による避難施設の電気供給システム）により、太陽光発電システム、電気自動車による施設への電気供給などの追加で遅れていました。

新交流センターの内容については、連絡所に加え JA めぐみの伊深支店が入り、ATMも設置されます。多目的室（会議など）は4つあり、開放すれば100人ほどが入り、敬老会やお月見会など大人数収容のイベントができます。

私たち協議会が重要設備とお願いした調理室も計画通りに作っていただきます。ここで、敬老会、お月見会、試験的に行った伊深食堂、喫茶、イベントでの軽食や伊深御膳、伝承料理の提供や料理教室もできます。いきいきサロン、災害時の拠点、乳幼児室もあります。また、旧自治会館のように各種団体の寄り処となるなど、やりたい事がいっぱいあります。完成は4月25日に引き渡し。5月連休明けから……オープンでしょうか。

次いでに周辺整備のお話。

連絡所、JA伊深支店（新年度からは営業所に）が移動した後、旧連絡所の取り壊し、JAも取り壊して、駐

●新交流センターの外観図（南西側から見た図）



(P1 から続く)

車場整備が行われます。JA の倉庫の 3 分の 1 は地域の倉庫として無償貸与されます。

JA の取り壊し後に芝生の広場(柵で囲む)が作られます。コイン精米所はそのまま。

やりたい事は、まちづくり協議会の人ができるわけではありません。町民の皆さんといっしょになって協力しあい、住みよい伊深を作っていきたいと考えます。

「交流センター」の話が中心となりましたが、暗い話題の昨年から新しい今年は、わくわくする年にしたいですね。

どうぞ本年もよろしくお願いいたします。

●●● トピックス まちの話題から ●●●

今年度の地籍調査が始まりました

—— 牛牧の「長谷」「涼越」「水梨子」で

平成 24 年度から始まった伊深の地籍調査は今年度 9 年目を迎え、伊深の最東部にあたる牛牧地区内の長谷(ながたに)、涼越(すずこい)、水梨子(みずなし)の 3 つの字を「9 地区」として現地立会が始まりました。

今年度は開始が 12 月からと例年より遅くなったため 2 月までの厳冬期での立ち

